

技術検討会「地域企業によるフードテック・アグリテック分野における新たな技術開発」

世話役 林田安生(熊本県産業支援課)

1 事業概要

目的	熊本県が取り組む「UXプロジェクト」では、自動車、半導体に続く第三の柱としてライフサイエンス分野における新産業群の創出を目指している。 その一環として、地域社会を支える重要な産業の1つである農業及び食品関連産業にデジタル関連技術等の新技術を導入することにより、その生産性・品質向上、消費者ニーズ対応の高度化、持続可能性の実現を図り、フードテック、アグリテック分野での新産業創出を推進する。
内容	①県内企業が取り組む農業及び食品関連事業に係る新技術(人工知能やWeb関連技術等を利用した自立機械による農民生産、食品製造、流通、品質管理や、代替肉といった新規食品製品 等)を対象に既存技術等の調査研究を行う。 ②有望と思われる既存技術等について、その有用性や問題点の検証に向け、実証方法の検討等を行い、県内企業が取り組む新たな産業技術開発の企画に資する。 (例) 食品の鮮度保持については様々な技術が開発されているが、その1つとして、食品を電界中に放置する技術が報告されている。この電界を発生させる電気回路を試作し、食品の鮮度保持効果を確認する 等。 ③県内企業による産業技術開発について、実施内容等を検討し、国等の競争的資金の活用による研究推進も視野に、オープンイノベーション等による新技術の創出につなげる。
計画	適宜開催する。
キーワード	UXプロジェクト、フードテック、アグリテック、食品製造、デリバリー・フードサービス、食品品質管理、代替食品、センシング、ドローン、IoT、流通プラットフォーム、AI、植物工場
目標及びその進め方	① 農業や食品製造等に係る既存技術等の調査のため、情報を収集し分析する。 ② 既存技術等の調査結果を参画企業と共有する検討会を実施。有望と思われる既存技術等について実証方法の検討等を行う。 ③ 農業や食品関連のオープンイノベーションを望む企業や大学等との情報交換会を実施し、新たな産業技術開発に向けた、大学等との情報交換等を行う。
対象者	①農業や食品製造に関連する事業を実施または計画している県内製造業者 ②農業者、食品関連事業者(食品製造業者等) ③農業、機械等に関連する研究者 等
会員	参加者は随時募集する。

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算		100	100	100	300	

3 予算積算

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費				0	
原材料費	調査、実証方法検討等に係る原材料	100		100	
消耗品費	実証方法検討等に係る試薬、器具	100		100	
その他	講師等旅費、謝金	100		100	
合計				300	